



Data

監督：黄家康（ホアン・ジャカン）、
趙霁（チャオ・ジー）

出演：三森すずこ／佐久間大介／杉
田智和／悠木碧／佐倉綾音
／石川界人／本田貴子／柴
田秀勝

ナレーション：沢木侑也

👁️👁️ みどころ

『ナタ転生（新神榜：哪吒重生）』（21年）に続いて、最新の中国流3DCGアニメの大ヒット作を鑑賞！「ナタ転生」を知らなくとも、「白蛇伝」なら日本でも有名。しかして、本作の舞台は？登場人物は？物語は？

『ナタ転生』は中国映画だったが、本作は米中合作映画。70億円超の興行収入をゲットしたそうだから、その実力はすごい。宮崎駿の『千と千尋の神隠し』（01年）、細田守の『時をかける少女』（06年）等のすばらしさを考えれば、日本のアニメは世界トップ。そう思っていたが、さて・・・？

— * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — *

■□■ 『ナタ転生』に続いて『白蛇：縁起』を！ ■□■

近時は日本でも中国でもアニメが大人気だが、3月に観たのが、最新の中国流3DCGアニメーションとして大ヒットした『ナタ転生（新神榜：哪吒重生）』（21年）（『シネマ48』220頁）。私は「ナタ」も「ナタ転生」も全く知らなかったが、同作を見てはじめて、中国人なら誰でも知っている「ナタ」や「ナタ転生」を勉強することができた。

あるネット情報には「興行収入70億円を突破した『白蛇：縁起』の制作スタジオ・追光動画が4年の年月を費やし、最新の3DCG技術を使用したことで、今までにはない新たな神話リメイク作品が完成した」と書かれていたが、2019年1月に中国で公開された本作は中国全土を魅了し、興行収入70億円を突破する大ヒットになったらしい。

「ナタ転生」を知らない日本人でも、「白蛇伝」は知っている。それは、日本の東宝と香港のショウ・ブラザーズが合作した『白夫人の妖恋』（56年）と藪下泰司監督の『白蛇伝』（58年）等を観れば明らかだ。しかして、なぜ今そんな映画が中国でも日本でも？それは、パンフレットの「Introduction」や「監督インタビュー（导演采访）」、「プロデューサーインタビュー（制片采访）」を読めばよくわかるから、それをしっかり勉強したい。

■□■『白蛇伝』の舞台は杭州西湖！美しい風景を追想！■□■

杭州の西湖を舞台に、3世代にわたる市井の人々の物語を紡いだ、顧曉剛（グー・シャオガン）監督の『春江水暖～しゅんこうすいだん（春江水暖/Dwelling in the Fuchun Mountains）』（1999年）（『シネマ48』1999頁）は、タイトルどおり、杭州や西湖の水墨画のような美しさが印象的だった。それと同じように、本作も冒頭、水墨画のような杭州西湖の美しさが見せられた後、白（三森すずこ）、宣（佐久間大介）、そして、白の妹分である青（佐倉綾音）を中心とする『白蛇伝』のストーリーが展開していく。

パンフレットによると、本作がリスペクトを込めて参考にしたのが、『新白娘子伝奇』（92年）。黄家康（ホアン・ジャカン）監督は、同作をきっかけに『白蛇伝』の前世のストーリーを制作したいと考えるようになったそうだ。杭州西湖が『白蛇伝』ゆかりの地であることは、パンフレットの「白蛇伝とは？（什么是白蛇传?）」で詳しく解説されているが、これを読んでいると、『春江水暖～しゅんこうすいだん』を観た時と同じように、中国旅行で数回観光した西湖の美しさを追想することに！

■□■米中が共同制作！吹き替え版では日本の声優も大奮闘！■□■

近時、映画界とりわけ最新の中国流3DCGアニメーションでは、米中協力が大きく進んでいるらしい。そのことは、『ナタ転生』はチームジョイが配給する中国映画だったのに対し、本作はワーナー・ブラザーズが共同制作する中国アメリカ映画であることを見ればよくわかる。さらに本作のパンフレットを読めば、日本語吹き替え版を制作するについて、声優陣を中心とする力の入れ方がよくわかる。とりわけ、私が注目したのは、「縁—YUAN—」と題する日本語の主題歌だ。「千年続く恋に落ちて」から始まるこの主題歌は、白と宣の“縁”をテーマにしたもの。本作ラストにこの曲が歌われ、その日本語の歌詞が表示されることによって、日本人の本作への理解度は大きく深まるはずだ。そんな風に本作の日本語吹き替え版制作に協力した日本の声優陣やスタッフたちの大奮闘に拍手！

■□■アニメ制作における日本と中国の競争に注目！■□■

私はアニメ映画はあまり好きではないが、2021年の夏も、邦画では『竜とそばかすの姫』（21年）、『アーヤと魔女』（20年）等のアニメ映画が公開され、フランスのアニメ映画『ジュゼップ 戦場の画家』（20年）も公開される。宮崎駿監督の『もののけ姫』（97年）や『千と千尋の神隠し』（01年）、そして細田守監督の『時をかける少女』（06年）（『シネマ12』398頁）等を中心に、アニメ映画では日本が次々と名作を送り出してきたから、明らかに中国より先行している。

しかし、『ナタ転生』や本作を観ても、今や中国流の3DCGアニメーションの美しさは際立っているから、その発展のスピードが早まれば、早晚、日本アニメは中国アニメに追いつかれ追い越されるかも？そんな危機感を持ちながら、アニメ制作における日本と中国の競争に注目していきたい。

2021（令和3）年8月4日記

白蛇：縁起

全国公開中



©Light Chaser Animation Studios ©Bustwood Move ©TEAM JOY CO., LTD.

監督：黄家康・趙霽
出演：三森すずこ / 佐久間大介 (SnowMan) / 佐倉綾音 / 杉田智和 / 悠木碧 / 柴田秀勝 / 石川閑人 / 本田貴子

ナレーション：沢木
作也
製作年：2019年、中国・
アメリカ、99分
【日本語吹替版】
配給・制作：アフロード
ムーブ・チームジョイ
共同配給：面白映画
【主役歌】
Man (avex 配信)
trax) ※読み：「ゆえん」

「白蛇伝」は知っている。それは、日本の真珠と香港のシウ・ブライナスが合作した『白夫人の妖恋』(56年)と数下森司監督の『白蛇伝』(58年)等を観れば明らかだ。しかし、なぜ今そんな映画が中国でも日本でも?

3世代にわたる市井の人々の物語を紡いだ『春江花暖くしゅんこうすいだん』(19年 顧晓刚監督)は、タイトルどおり、杭州や西湖の水墨画のような美しさが印象的だ。それと同じように、本作も冒頭、水墨画のような杭州西湖の美しさを見せられた後、白(三森すずこ)、宣(佐久間大介)、そして白の妹分である青(佐倉綾音)を中心とする『白蛇伝』のストーリーが展開していく。杭州西湖は『白蛇伝』ゆかりの地である。パンフレットによると、本作

熱血弁護士

坂和章平



中国映画を語る (57)

映画を語る「シリーズをはじめ映画に関する著書多数。公
社、日中友好協会をNPO法人大阪日中友協会理事長。



(さかわ・しちろう)
1949年生まれ。豊松山住生
れ、大阪大学法学部等。都野
開院に関わる訴訟を数多く手
掛け、日本雑誌社圖書会、石
川道(同業)に日本労働者連
「実務者」を執筆。『昭和
映画史』(2004年)
『子二のオウチン』(2004年)
弁護士

主役歌にも注目！最新中国流3DCGアニメ

が参考にしたのが『新白娘子伝
奇』(92年)。黄家康監督は、同
作をきっかけに『白蛇伝』の前
世のストーリーを制作したいと
考えるようになったそうだ。

映画界、とりわけ最新の中国
流3DCGアニメーションで
は、米中協力が大きく進んでい
るらしい。そして、米中合作映
画である本作は、中国のアニメ
会社・追光動画が最新の3DCG
技術を使用し、中国で70億円
超の興行収入を叩いたそう
だから、その実力はすごい。

さらに、日本語吹き替え版制
作にあたり、声優陣を中心とし
た力の入れ方がよくわかる。と
りわけ私が注目したのは「縁
-YUAN」と題する日本語
の主役歌だ。千年続く恋に落
ちて」とう歌い出してぬまる
この歌は白と宣の「縁」をテーマ
にしたもの。本作ラストに
の曲が流れ、その歌詞が表示さ
れることにより、日本人の本
作への理解度は大きく深まるは
ずだ。本作の日本語吹き替え版
制作に協力した日本の声優陣や
スタッフたちの大奮闘に拍手！
また杭州西湖の観光に行きた
くならしてしまつたのは必然！